

3. ふるさとを愛し、未来に夢が膨らむまち

－教育・文化－

「生きる力を身につけ、よき社会の形成者として未来を拓（ひら）く子どもの育成」を目指して、地域や家庭と学校・園が連携・協力して、子供たちの夢の実現を支援します。また、生涯学習の充実により、生きがいと心の豊かさ、地域に対する愛着と誇りを持った人材づくりを推進します。

1 家庭教育への支援

◆ 一時預かり（幼稚園型）事業【子育て支援課】 671万円

公立幼稚園（大津幼稚園・陣内幼稚園）では、保育サービスの向上を目指し、保護者の就労または傷病等で、家庭での保育が困難な幼児を、長期休業期間と教育時間を超えて預かる、預かり保育を行います。

◆ 要保護・準要保護児童生徒就学援助費【学校教育課】 4,580万円

経済的理由で就学が困難な児童や生徒の保護者に、給食費や修学旅行費など必要な援助を行います。

◆ 特別支援教育就学奨励費【学校教育課】 717万円

特別支援学級に通う児童や生徒の保護者に必要な援助を行います。



2 幼児教育・学校教育の充実

◆ 新型コロナウイルス感染症対策【教育施設課】 661万円

小中学校における感染症対策を徹底するため、手指消毒剤をはじめとする対策物品の購入や仮設の手洗い場を増設し、児童生徒への啓発とともに引き続き感染症対策に取り組めます。

◆ ICT支援員配置事業【教育施設課】 1,564万円

小中学校における1人1台タブレットの整備が完了したことから、ICT支援員を配置し、学校現場へのより高度な支援に取り組めます。

◆ 小学校管理費及び中学校管理費【学校教育課・教育施設課】 3億9,291万円

小学校と中学校の学校運営や維持管理に要する費用や、児童生徒に対してより分かりやすく興味関心が高まる授業を行うために、ＩＣＴを活用した学習などの充実に取り組みます。この費目には、教材備品購入や全国大会出場補助金なども含まれます。

◆ 教職員の資質向上のための事業【学校教育課】 467万円

教職員の授業力向上を図るため、教育指導員を配置し、授業の進め方や教材作成の指導を行います。また、教育講演会及び教育実践発表大会の開催、教育論文の募集、教職員人材育成事業による各種研修会を開催し、教職員の資質向上を図ります。

◆ 学習支援事業【学校教育課】 3,613万円

基礎学力向上のための学習支援指導員を小中学校に16人配置し、小学校は算数、中学校は英語と数学について担任とともに授業にあたり、個々の実態に応じた学習支援を行います。なお、大津東小学校と大津北小学校においては、複式学級における全教科の間接指導の場面で学習支援を行います。

◆ 学校支援員配置事業【学校教育課】 5,098万円

学校生活において特別な配慮を要する児童生徒を支援するために、小中学校に学校支援員を37人配置します。

◆ 学校教育推進事業補助金【学校教育課】 509万円

教職員の資質向上、児童生徒の学力・体力向上、保護者の負担軽減を目的として、学校教育における人権教育、特色ある学校づくり、中学校における部活動や進路指導対策に対する補助を行います。

◆ 英検受験料補助金【学校教育課】 50万円

児童生徒の英語力の向上を目指し、英語検定の受験料の一部を補助します。

◆ 英検受験手数料【学校教育課】 197万円

「くまもと英語教育推進プラン」に基づき、町立中学校第3学年に在籍する生徒を対象に、英検3級以上の受験費用の全額を補助します。

◆ 護川小学校屋根改修事業【教育施設課】 26,308万円

経年劣化により雨漏り等の不具合が確認されていた護川小学校校舎屋根の改修工事を実施します。仮設校舎などを使用して工事期間中の学校の運営に支障がないように実施します。



◆ 大津中学校長寿命化改修事業【教育施設課】 144,906万円

老朽化した大津中学校校舎の長寿命化改修工事を実施します。仮設校舎などを使用して工事期間中の学校の運営に支障がないように実施します。

◆ コミュニティ・スクール（学校運営協議会）【学校教育課】

「地域とともにある学校づくり」を進めるため、令和3年度から町内全小中学校にコミュニティ・スクール制度を導入し、学校運営協議会を設置しています。保護者や地域住民の意見を反映することで、学校運営のさらなる改善・充実を目指します。また、毎月14日は大津町教育の日（学校に来てはいいよ）としています。コロナ禍のため参加者を限定して再開しておりましたが、令和5年5月15日（月）から誰でも参加できる形で再開しております。

◆ 教育に関する支援【学校教育課】 13,646万円 **拡充**

不登校やいじめの相談、問題行動などのサポートを行うため、教育支援センター及び町内2中学校に教育相談員8人と教育支援センターサポート支援員1人を配置するとともに、教育支援センター副センター長を配置しています。また、適応指導教室における学習支援を充実させるために外部講師の活用などを行い、支援を充実します。更に、臨床心理士による専門的な支援の充実を図るとともに、本年度から新たにスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒、家庭、学校をバックアップします。外国にルーツを持つ児童生徒を支援するために日本語指導も行います。

◆ 幼・保等、小、中、高の連携強化【学校教育課】

子どもたちの育ちの連続を保障するために、それに関わる家庭・学校・地域住民が共理解と共通実践をめざし、「育ちのステップ」の活用を図ります。

●大津町の小学校・中学校

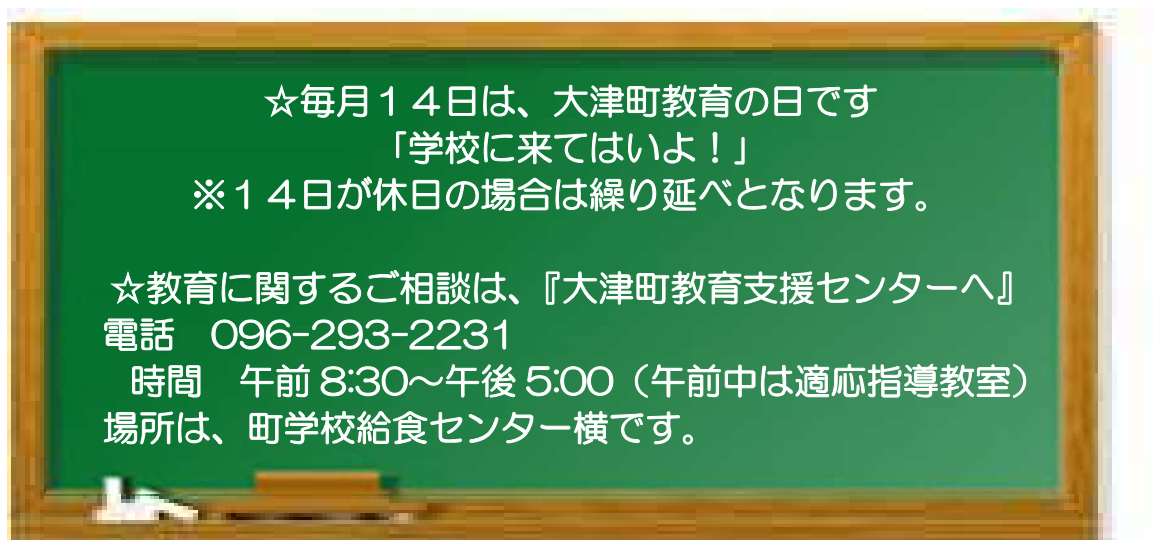
学校名	児童生徒数 (人)	学級数		学習支援 指導員(人)	学校支援員(人)
			うち特別支援学級数		
大津小学校	817	31	7	2	6
美咲野小学校	617	26	7	2	5
室小学校	607	25	7	2	8
大津南小学校	196	9	3	1	3
大津東小学校	41	6	2	2	2
大津北小学校	48	7	2	2	2
護川小学校	181	10	3	1	2
小学校計	2,507	114	31	12	28
大津中学校	459	17	4	2	4
大津北中学校	798	28	7	2	5
中学校計	1,257	45	11	4	9

※児童生徒数は、令和5年5月1日現在のものです。

小中学校・幼稚園の長期休業日（令和5年度）	
夏休み	7月21日（金）～8月27日（日）
秋休み	10月7日（土）～10月11日（水）
冬休み	12月23日（土）～1月8日（月）
春休み	【小・中学校】 3月23日（土）～4月7日（日） 【幼稚園】 3月23日（土）～4月9日（火）

大津町「三つの約束」

1. あいさつをする
2. 時間を守る
3. 人の話を聞く



3 生涯学習・生涯スポーツの推進

◆ 生涯学習推進事業【生涯学習課】 880万円

地域学校協働活動事業、放課後子ども教室事業により地域学校協働活動推進員を育成し、地域と学校が連携して子どもを育てる活動を推進します。親子ふれあいキャンプを実施し、子ども達の自然体験と併せて、学生リーダーの育成を図ります。家庭教育の推進のため、親子ふれあい事業（星空教室・乗馬教室等）を実施します。毎月15日に生涯学習情報誌を発行し、生涯学習のための情報を発信します。



親子ふれあいキャンプ



親子ふれあい乗馬教室

◆ 公民館講座の運営費【公民館】 200万円

公民館講座は、文化、軽スポーツ、家庭教育などの分野において、親子、児童生徒、成人、高齢者向けの各種講座を年間100回程度実施しています。活動成果の発表の場として、大津町生涯学習センターにおいて1月下旬にカルチャーフェスタを開催します。



公民館講座「木育教室」



高齢者学級「ペタンク」

◆ 文化ホール事業運営助成事業【公民館】 450万円

文化ホール事業運営員会への助成を行い、子ども向けや成人向けの公演など、年間3～4回の事業を行い、様々な文化を発信します。

◆ おおづ図書館の図書資料などの購入費【図書館】 1,238万円

図書資料（一般書・児童書・リクエスト図書）、視聴覚資料、新聞、雑誌、ボードゲーム、電子書籍等を無料で貸し出します。また、調べ物のご相談やお手伝いもしていますので、お気軽におたずねください。詳細はおおづ図書館ホームページをご覧ください。

【おおづ図書館の蔵書数】

（令和4年度末）

一般図書など：約 186,000 冊

雑誌：約 13,000 冊

DVD・CD：約 6,000 枚



おおづ図書館の館内

◆ 生活スポーツ「健康と楽しみのスポーツ」の推進【生涯学習課】 1,087万円

町民の「スポーツ実施率65%」を目標に野外活動教室や講習会を開催し、生涯スポーツの推進を図ります。

※スポーツ実施率とは、1週間に1回30分以上の運動や徒歩による通勤等を実施した町民の割合をいいます。（令和4年度アンケート調査：本町の実施率51.6%）

◆ スポーツイベントを通じた町民交流の推進【生涯学習課】 120万円

第25回スポーツの森・大津ジョギングフェスティバルを、令和6年2月25日（日）（予定）大津町運動公園を主会場に開催します。2km・5km・10km種目の他、健康体力づくり事業として、ノルディックウォーキング教室（無料）を行います。

◆ 行政とスポーツ団体との協働によるスポーツ推進【生涯学習課】 350万円

スポーツ団体（町体育協会・校区スポーツ振興会）と行政との協働による生涯スポーツの推進を図ります。



◆ スポーツコンベンションの推進【生涯学習課】 30万円

大規模な大会やスポーツキャンプ等を誘致し、スポーツコンベンションによる経済効果の推進を図ります。

4 地域の歴史・文化の継承と振興

◆ 文化芸術振興・江藤家住宅整備事業【生涯学習課】 8,93万円

町の文化財の保護と町民の文化意識を高めるため、国指定重要文化財「江藤家住宅」を中心とした文化財・史跡の保存活用を図ります。また、国指定重要文化財「江藤家住宅」の熊本地震被災復旧修理工事及び公開活用事業が完了を予定しています。歴史文化伝承館では、歴史教室や文化財の展示を行います。また、文化関係団体を育成し、文化協会文化祭の開催、第11代横綱不知火光右衛門の顕彰、梅の造花など文化技術の伝承を支援します。



国重要文化財江藤家住宅



梅の造花体験